

# 東京のまちづくり

特集1 連続立体交差事業推進中  
～踏切がなくなる、渋滞がなくなる、まちが変わる～

特集2 ・第2回東京パークガーデンアワード 神代植物公園  
・早春の小石川後楽園 梅まつり「梅香る庭園へ」を開催

特別特集 夢の島熱帯植物館がもっと楽しくなる!  
「熱帯植物虫めがねAR」で遊ぼう!



高架化前



高架化後



小石川後楽園 梅林

# 連続立体交差事業 推進中

都内には、約1,040箇所の踏切が存在  
そのうち約290箇所が「開かずの踏切」



「開かずの踏切」に誰もがイライラ!



バスや救急車も遮断する渡れない踏切!

解消!

～踏切がなくなる、渋滞がなくなる、まちが変わる～

## 連続立体交差事業で活躍する機械

限られた時間で安全に工事を進めるため、様々な機械を活用しています。

### ①タワークレーン



最大約25tまでの部材を吊り上げることができます。

### ②工事桁架設機



重量のある部材を効率的に設置することができます。

### ③シールドマシン



地面の中を掘り進めながら、電車が通る地下トンネルを造ります。

問合せ先  
道路建設部 鉄道関連事業課  
TEL : 03-5320-5331



東京都建設局  
連続立体交差事業ポータルサイト  
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigy/road/kensetsu/gaiyo/00.html>

## 渋滞解消で人とモノの流れがスムーズに

## 地域分断解消により賑わいのあるまちに

ストック効果

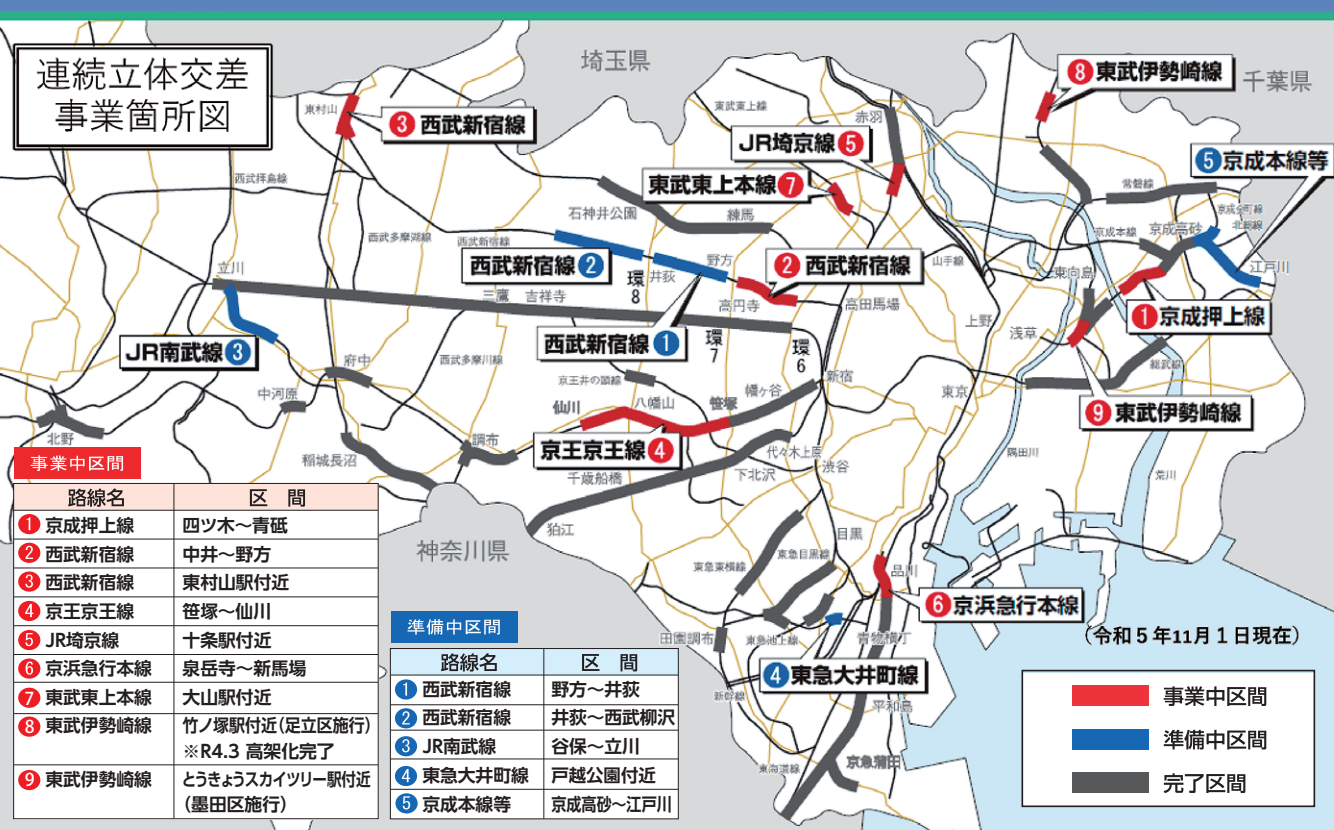


踏切による交通渋滞が解消



高架下に保育所や商業施設などを整備し、便利なまちに

事業を契機に再開発等が進展



## 冬はレッサーパンダの季節

多摩動物公園 南園飼育展示第1係 小林由里香

冬は、レッサーパンダが最も活発になる季節です。野生では中国西南部、インド北部の涼やかな高地の森林に生息しています。身体は気候に対応しており、密に生えた輝くような茶色の長い毛によって寒さから身体を守ります。毛は足の裏にも生えており、体からの熱の放散をできるだけ防ぐようになっています。

動物の分類では、食肉目という主に肉を食べる動物のグループに属しているものの、竹が主食という独自の進化をとげています。そのため、消化管は植物を効率よく消化できる構造にはなっておらず、食べたものは消化管内で混ざらず食べた順に排泄されます。冬は食欲旺盛になり、食べた後のフンの総量は夏の約2倍にもなります。

繁殖期は冬から春にかけてです。普段は縄張りを持ち単独行動するレッサーパンダの出会いの季節です。木や岩にお尻を擦り付けるなどして、いつも以上にマーキング(臭い付け)に余念がありません。

多摩動物公園では、2022年7月に双子のオスが生まれました。暑い夏でも子ども達は元気いっぱい運動場を縦横無尽に走り回っていました。レッサーパンダは、生後1年半程で大人になります。すっかり親と同じ大きさとなった子ども達は繁殖期を迎える前の2023年10月に親離れとなりました。と言っても、まだまだ動きは子どもらしく、2頭で取っ組み合い、転げ回りながら兄弟で過ごしています。

今年の冬も、そのパワフルさでどんな動きを見せてくれるか楽しみです。

## 動物園の“かお” 上野動物園 コビトハツカネズミ

アフリカ南部に生息する世界最小のネズミです。500円硬貨と並べるとその小ささが際立ちます。

